

【主催】公益社団法人青森県老人福祉協会
平成30年度 **介護福祉士ファーストステップ研修**
開催要項

趣 旨 ～介護福祉士ファーストステップ研修とは～

本研修は**小規模チームのリーダー養成**を目的に『ケア領域、連携領域、運営管理領域』の3つの領域について学びます。研修内では、「実際のケア場面」「映像を用いた事例検討」「介護ロールプレイ」等を中心に行うことで、**自身の振り返り**だけでなく、**リーダーシップスキルの向上、介護福祉士の専門性向上**が期待できます。

日 程	各単元テーマ	会 場
1日目：5月26日(土) 2日目：5月27日(日)	高齢者の尊厳と倫理	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
3日目：6月12日(火) 4日目：6月13日(水)	ニーズと行動への気づきと対応	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
5日目：7月13日(金)	コミュニケーションの方法と応用	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
6日目：8月9日(木) 7日目：8月10日(金)	観察・記録の的確性 チームのまとめ役としてのリーダーシップ	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
8日目：9月5日(水) 9日目：9月6日(木)	家族や地域の支援力の活用と強化 職種間連携の実践的展開	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
10日目：10月3日(水)	介護職の健康・ストレスの管理	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
11日目：10月25日(木) 12日目：10月26日(金)	セーフティマネジメント 問題解決の思考法	県民福祉プラザ 2階 多目的室2A
10月29日(月)～11月26日(月)のうち18日間	自職場実習	自施設・事業所
13日目 平成31年1月18日(金)	実習のまとめ(研修総括)	県民福祉プラザ 4階 大・中研修室

対 象

- ①介護福祉士資格取得後2年程度の実務経験者
②認知症介護実践研修(実践者研修)を修了した者 ※

上記を原則とし、次に該当する者

- ・リーダー及びサブリーダー等、他の職員の指導や助言を行う立場の者または就任予定の者
- ・全日程に参加可能な者

修了者の取り扱い

- 1) 修了した者については、本協会より県へ報告し、県に登録されます。
2) 対象を全て満たした者は、**認知症介護実践リーダー研修修了と同等の取り扱い**となり、認知症専門ケア加算を受けることができます。 ※対象②を満たしていない場合は同等の取扱いにはなりません

受講料

一人あたり
70,000円
(教材費含む)

申込締切

平成30年
5月1日(火)
本協会必着

定 員

36名
※最少催行人数24名
※超過した場合は先着順

申込方法

- 1) 別紙「様式 1 参加申込書」に必要事項を記入の上、FAXにてお申込ください。
- 2) 用紙が不足する場合は、「参加申込書」をコピーしてご使用ください。

受講決定

- 1) 申込締切後、所属長宛に受講決定を通知します。
- 2) 原則として、受講決定後の受講者変更は認めません。
- 3) 受講決定の通知と併せて“受講料の請求書”および“事前課題”を送付いたします。

事前課題について

本研修の参加にあたって事前に下記の課題に取り組んでいただきます。

なお、課題の詳細については受講決定の通知と併せて送付いたします。

【研修前課題】：「高齢者介護における尊厳と倫理」

事前に「尊厳」と「倫理」に関する資料を配布しますので、予習をしてください。

【自職場課題①】：「自職場における介護の課題を探す」

研修前課題の成果を活かし、自職場において“高齢者の尊厳を損なっている介護”“介護職の職業倫理に反する行為”など、3日程度かけてよく観察・課題を発見し、レポートにまとめていただきます。

受講料について

- 1) 納付先と納付期限は、受講決定の通知と併せてお知らせいたします。(手数料はご負担願います)
- 2) 受講料納付後、やむを得ない事由により研修開始 3 日前までに辞退を申し出いただいた場合に限り、受講料を返金します。(送金に係る経費を除く)

その他

- 1) 駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。※会場案内参照
- 2) 個人情報については、今回の研修に関してのみ使用させていただきます。

会場案内



県民福祉プラザ（青森市中央 3 丁目 20-30）
TEL：017-777-9191

- > 中央環状線「県民福祉プラザ前」下車
- > JR 青森駅前 4 番乗り場より下記行きで 15 分
【市民病院線、横内環状線、問屋町行き、大野浜田環状線、朝日放送行き】
「働く女性の家前」下車 徒歩 1 分
- > 国道 4 号線「市役所前」下車 徒歩 15 分
- > 国道 4 号線「NTT 前」下車 徒歩 10 分

駐車場案内

館内：約 50 台
臨時駐車場：約 50 台 徒歩 3 分

お問い合わせ

〒030-0822 青森市中央 3 丁目 20 番 30 号
公益社団法人青森県老人福祉協会 担当/山田・江良
電話：017-731-3755 FAX：017-731-3756
E-mail：roshikyo@themis.ocn.ne.jp
ホームページ：http://www.aomori-roukyo.or.jp/

平成30年度介護福祉士ファーストステップ研修について

■ カリキュラムの概要

介護福祉士ファーストステップ研修の要項を参考に大きく3つの科目に分かれています。

カリキュラムの全体構成		時間数
Ⅰ. ケア領域 72 時間	1 利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	16
	2 介護職の倫理の実践的理解と展開	16
	3 コミュニケーション技術の応用的な展開	16
	4 ケア場面での気づきと助言	24
Ⅱ. 連携領域 48 時間	5 家族や地域の支援力の活用と強化	16
	6 職種間連携の実践的展開	16
	7 観察・記録の的確性とチームケアへの展開	16
Ⅲ. 運営管理基礎領域 80 時間	8 チームのまとめ役としてのリーダーシップ	16
	9 セーフティマネジメント	16
	10 問題解決のための思考法	16
	11 介護職の健康・ストレスの管理	16
	12 自職場の分析	16
Ⅳ. 上記以外	13 自職場課題の分析及び観察	16
	14 実習のまとめ（研修総括）・自職場課題の分析と対策	

■ 自己学習課題・自職場課題について

本研修では各単元における課題があります（カリキュラム参照）。
課題の詳細については研修中に随時お知らせいたします。

■ 各単元及び全体の修了課題について

この研修受講者には、各単元および最終的な目標達成を確認します。
達成度の確認は単元ごとの最後の研修時間を使って行います。

■ 修了証書の交付

研修の全日程を修了した受講者には、本協会会長名で修了証書を発行します。

■ タイムスケジュール ※進行状況により前後します。

1時限	9：15～10：00
2時限	10：05～10：50
3時限	10：55～11：40
4時限	11：45～12：30
5時限	13：30～14：15
6時限	14：25～15：10
7時限	15：20～16：05
8時限	16：15～17：00

■ 研修講師（予定）

- ①日本大学文理学部 教授 内藤 佳津雄 氏
（NPO 法人介護人材キャリア開発機構理事／研修企画担当）
- ②青森県認知症介護指導者 工藤 のり子 氏
（社会福祉法人宏仁会）
- ③青森県認知症介護指導者 秋田谷 一 氏
（まっすぐ介護合同会社）
- ④青森県認知症介護指導者 池田 哲人 氏
（特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ）

平成30年度介護福祉士ファーストステップ研修 カリキュラム

区分	内容
事前課題	研修前予習課題「高齢者介護および周辺領域の職業倫理を理解する」(8時間) 自職場課題①A「自職場の尊厳・倫理の課題を発見する」(4時間)
1日目 5/26 (土)	①「高齢者の尊厳と介護倫理」(8時間) 課題①Aの発表と討論 講義：尊厳と倫理を考える 演習：尊厳をテーマとした映像及び事例
2日目 5/27 (日)	①「高齢者の尊厳と介護倫理」(8時間) 講義：尊厳と倫理の関係 演習：倫理をテーマとした映像及び事例 科目評価：尊厳と倫理の課題を含む事例検討(解決策を考える)
事後課題 事前課題	自職場課題①B「自職場の尊厳・倫理の課題解決を図る」(4時間) 自職場課題②A「ケア行為を観察して課題に気づく」(4時間)
3日目 6/12 (火)	②「ニーズと行動への気づきと対応」(8時間) 自職場課題②Aの発表と討論 講義：個別ケア・認知症ケア 演習：事例に関するニーズへの気づき
4日目 6/13 (水)	②「ニーズと行動への気づきと対応」(8時間) 演習：事例に関するニーズへの気づき 科目評価：映像事例に関する課題への気づきと対応
事後課題 事前課題	自職場課題②B「高齢者のニーズを多角的に考える」(4時間) 自職場課題③A「自分のコミュニケーションの課題を知る」(4時間)
5日目 7/13 (金)	③「コミュニケーションの方法と応用」(8時間) 講義：介護におけるコミュニケーションについて ロールプレイ：部下とのコミュニケーション、コミュニケーションを重視した介護場面 科目評価：まとめ
事後課題 事前課題	自職場課題③B「コミュニケーション方法を試みる」(4時間) 自職場課題⑥A「職場における記録の的確性・活用性について検討する」(4時間) 自職場課題⑦A「未解決課題についてのカンファレンス資料の作成」(4時間)
6日目 8/9 (木)	④「観察・記録の的確性」(8時間) 課題⑥Aの発表 講義：個別ケアと記録 演習：ケア場面の記録
7日目 8/10 (金)	⑤「チームのまとめ役としてのリーダーシップ」(8時間) 講義：個別ケアとリーダーシップ ロールプレイ：カンファレンスにおけるリーダーシップ 科目評価：まとめ(成果確認)

事後課題 事前課題	自職場課題⑥B「実際のケア場面における記録を作成する」(4時間) 自職場課題⑦B「リーダーとして取り組むべき課題と解決方法をまとめる」(4時間) 自職場課題④A「家族・地域との連携に関する課題を考える」(4時間) 自職場課題⑤A「職種間連携の課題を把握する」(4時間)
8日目 9/5 (水)	⑥「家族や地域の支援力の活用と強化」(8時間) 講義：家族や地域との連携 演習：家族・地域とのかかわりについての事例 科目評価：自職場課題の解決演習
9日目 9/6 (木)	⑦「職種間連携の実践的展開」(8時間) 講義：職種間連携に期待すること 演習：職場内・職場外における職種間連携についての事例 科目評価：自職場課題の解決演習
事後課題 事前課題	自職場課題④B「家族・地域の連携に関する課題解決レポート」(4時間) 自職場課題⑥B「職種間連携に関する課題解決レポート」(4時間) 自職場課題⑧A「ストレス調査と自分自身の健康観」(4時間)
10日目 10/3 (水)	⑧「介護職の健康・ストレスの管理」(8時間) 講義：健康管理と関連法制度 演習：ストレス管理とアサーション(科目評価含む)
事後課題 事前課題	自職場課題⑧B「プロセスレコードとアサーション」(4時間) 自職場課題⑨A「ヒヤリハットに関するレポート」(4時間) 自職場課題⑩A「問題解決に関する課題について解決を試みる」(4時間)
11日目 10/25 (木)	⑨「セーフティマネジメント」(8時間) 課題⑨Aの発表 講義：個別ケアとセーフティマネジメント 演習：事例についてセーフティマネジメントの方策を考える 科目評価：自職場課題に対する解決策の立案(演習)
12日目 10/26 (金)	⑩「問題解決のための思考法」(8時間) 課題⑩Aの発表 講義：問題解決の手法 演習：問題解決手法を用いて課題を分析し、発表する。(科目評価含む)
事後課題	自職場課題⑨B「ヒヤリ・ハットに対する解決策」(4時間) 自職場課題⑩B「研修内で作成した問題解決方法について自職場で実践する。さらにその成果と課題を踏まえ、再度解決方法の企画をする」(12時間)
自職場実習	平成30年10月29日(月)から平成30年11月26日(月)までのうち18日間 自職場実習：自職場課題の分析及び観察
13日目 1/18 (金)	⑪「実習のまとめ(研修総括)」 自職場課題の分析と対策